(素案)

(仮称) 千代田区障害者の意思疎通の手段に関する基本条例

(前文)

人は、様々な情報を収集発信し、他の人と意思疎通を図りながら、社会生活を送っていく。そのための手段には、音声言語をはじめ、文字、点字、手話、触覚など多様な選択肢があるが、障害によってその手段に制約を受けることは、障害者の生活に多くの困難をもたらすおそれがある。

千代田区において、行政のみならず民間サービスや区民の地域活動を含めたあらゆる場面で、障害者の意思疎通の手段について選択の機会を拡大し、すべての人が障害の有無や種別によって分け隔てられることなく、相互に理解し暮らすことのできる地域社会の実現をめざし、この条例を制定する。

(目的)

- 1 この条例は、意思疎通の手段に関する基本理念を定め、千代田区(以下「区」という。)、区民及び事業者の責務を明らかにするとともに、区が障害の特性に応じた意思疎通の手段に関する合理的配慮の提供の促進を図ることにより、障害がある人もない人も分け隔てなく安心して暮らすことのできる地域社会を実現することを目的とする。

(定義)

- 2 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。
 - (1) 障害者 身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む。)、難治性疾患その他の心身の機能の障害(以下「障害」と総称する。)がある者であって、障害及び社会的障壁により、継続的又は断続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。
 - (2) 意思疎通の手段 言語(手話を含む。)、要約筆記等の文字の表示、点字、音訳、平易な表現、代筆及び代読その他日常生活又は社会生活を行う場合に必要とされる補助的及び代替的な手段としての意思疎通支援用具等をいう。
 - (3) 合理的配慮 障害者が日常生活又は社会生活において、障害のない人と同等の権利を行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整をいう。
 - (4) 区民 区内に居住する者、在勤する者又は在学する者をいう。
 - (5) 事業者 区内で事業活動を行う法人その他の団体をいう。

(基本理念)

- 3 意思疎通の手段に関する合理的配慮の提供は、障害のある人とない人とが

相互の違いを理解し、その個性と人格とを互いに尊重することを基本として行われなければならない。

3の2 障害者が有している障害の特性に応じて意思疎通を円滑に図る権利は、最大限尊重されなければならない。

(区の責務)

4 区は、前条に規定する基本理念(以下「基本理念」という。)に則り、区民、事業者その他の関係者との連携を図りながら、障害者の立場に立って、障害の特性に応じた意思疎通の手段に関する合理的配慮を提供し、障害者の利益が実現されるよう、環境の整備を推進する責務を有する。

4の2 区は、障害者に対して災害時における緊急情報を当該障害者の障害の特性に応じた意思疎通の手段により迅速かつ適切に伝達する責務を有する。

(区民の責務)

5 区民は、基本理念に対する理解を深め、地域社会で共に暮らす一員として、障害者に対して障害の特性に応じた意思疎通の手段に関する合理的配慮を提供するよう努めるものとする。

(事業者の責務)

6 事業者は、基本理念に対する理解を深め、意思疎通の手段に関する合理的配慮の提供の促進について区が推進する施策に協力するよう努めなければならない。

6の2 事業者は、障害者に対して障害の特性に応じた意思疎通の手段に関する合理的配慮を提供し、事業従事者に対しては、本条例の趣旨について研修を実施し、障害者の利益が実現される環境の整備に努めなければならない。

(障害者福祉事業の方針)

7 障害者福祉に係る事業(以下「障害者福祉事業」という。)は、その形態や実施主体の違いにかかわらず、障害の特性に応じた意思疎通の手段に関する合理的配慮を提供するものでなければならない。

7の2 区は、障害者福祉事業が実施されるにあたり、良好な意思疎通の手段に関する配慮が提供されるよう必要な支援を行うものとする。

(理解促進)

8 区は、区民及び事業者に対して、障害の特性に応じた意思疎通の手段について理解を深めるための取組を行う。

8の2 区は、障害者に対して障害の特性に応じた意思疎通の手段に関する配慮を提供した区民及び事業者を表彰することができる。

(財政上の措置等)

9 区は、意思疎通の手段に関する施策を推進するために必要な財政上の措置

その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

(委任)

- 10 この条例の施行に関し必要な事項は、千代田区長が別に定める。